



都城国際交流協会会報

MIA NEWS

ミア ニュース

編集発行: 都城国際交流協会
〒885-8555 都城市姫城町6-21
都城市役所 国際化推進室内
電話 0986-23-2295 FAX 0986-23-3223
http://miyakonojo-mia.com/
E-mail mia@btvm.ne.jp

協会イベント情報

◇世界のビールとトリビアナイト 参加者募集!

※20歳以上対象

世界のビールとトリビアナイトを開催します。
このイベントは世界のビールを飲みながら、6人1組のチームで面白い雑学クイズに挑戦し、優勝を競います。ご参加をお待ちしています!

日時: 9月7日(土) 18:30~21:00 (開場18:00)

参加料: MIA会員 2,800円

一般 3,300円

ビール3本及び軽食が付きます。



場所: メインホテル 5階
(都城市上町8-9)

対象: 20歳以上の方

※事前にチケットをご購入下さい。予約はできません。

定員: 66名(先着順)(個人または2~6人グループ)

6人グループ以外の方は、事務局で他の参加者と組み合わせ、6人グループにします。

問合せ: 都城国際交流協会まで
TEL 0986-23-2295 E-mail mia@btvm.ne.jp
チケット取扱い: 都城国際交流協会事務局

◇外国人のための生活安全交流会 参加者募集!

日本での生活に役立つ情報などを楽しく学ぶ交流会です。お知り合いの外国の方にお声掛けください。
※中国語と英語で通訳をします。
※昼食として非常食の試食をします。

日時: 9月29日(日) 10:00~13:00

会場: 中央公民館 第5研修室

対象: 都城市内在住の外国人とその家族
子どもさんも一緒に参加できますが、託児はありません。

定員: 30名

申込み: 都城国際交流協会(MIA)まで
電話、E-mailでお願いします。



◇クッキングアドベンチャー「オーストラリア編」 参加者募集!

都城市の国際交流員、ジョージさん(オーストラリア出身)を講師に、オーストラリア料理教室を開催します。オーストラリアについてのお話もさせていただきます。



日時: 10月5日(土) 10:00~13:00

場所: 都城市コミュニティセンター 調理室

参加料: MIA会員 800円

一般 1,100円

持参品: エプロン・筆記具

定員: 20名(先着順・会員優先)

メニュー: ミートパイ

問合せ・申込み: 都城国際交流協会まで、
電話、E-mailでお願いします。

◇中国語講座 実践編 受講者募集!

中国語の発音ピンインが読める方を対象に、中国語講座を開講します。

日程: 9月18日・25日、10月2日・16日・23日(水)
(全5回)

時間: 19:00~20:30

場所: 都城市コミュニティセンター2階 研修室

講師: 銭慧文(せん けいぶん)さん
(都城市中国国際交流員)

受講料: 無料

定員: 30名程度

問合せ・申込み: 都城国際交流協会(MIA)まで
電話、E-mailでお願いします。



◇MIA NEWSに記事を書きませんか

海外旅行記、海外留学体験記、ホストファミリー体験談、各国際交流・協力団体の活動など、国際交流・協力に関する記事を書いてみませんか。1200字程度で、写真1~2枚、文字数は1200字以下でもかまいません。また、それ以上書きたいという方はご相談ください。名前を掲載したくないという方も考慮いたします。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

◇ワールド・フェスタ2020



「ワールド・フェスタinみやこのじょう2020」に協力して下さる団体、個人、ボランティアスタッフを募集します。(都城市又は三股町にお住いの方)。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

日時：2020年1月19日(日) 12:00～17:00

会場：都城市総合文化ホール(MJ)

イベント内容：海外の国や地域の紹介など。

募集対象：国際交流、国際協力や多文化共生などワールドフェスタの目的に沿うもの。

募集内容：

①国や地域紹介ブース

体験交流できるもの。展示のみは不可(モンゴル、中国は除きます。)

②国際交流、国際協力等の団体活動紹介コーナー パネル展示

③個人、団体でのステージ発表

外国の方による歌やダンスなど。時間は3分～10分以内

④ボランティアスタッフ

- ・前日の会場設営準備(荷物運搬やパネル設置など)
- ・当日のブース準備、終了後の片付け
- ・国紹介ブース補助、ステージ受付・案内
- ・ステージ裏補助等



注意事項：

＊希望者多数の場合、調整させていただきます。

ご了承ください。

＊今年度の①②のブースは全て2階(ホワイエなど)で行う予定です。各ブースの広さ、場所は参加数によって調整します。

申込み締切：2019年11月15日(金)

申込み・問合せ：いずれの募集も事前の申込みが必要です。団体名、お名前、参加内容を電話、E-mailでMIA事務局までご連絡ください。

日本の旅の感想

都城市オーストラリア国際交流員のジョージさんのご家族が、5月に都城市に3週間滞在され、その後2週間国内を巡る観光ツアーに参加されました。その時の感想をお聞きました。



「都城市で過ごした時間は怎么样了か？」

素晴らしかったです。地域の皆さんがすごく親切で優しく、日本語が全くできなくてもある程度交流ができたと思います。店やレストランの店員さん全員が待ってくださって、ゆっくり説明してくださって助かりました。

「日本で過ごした時間は怎么样了か？」

大都会より田舎のほうが良いですが、首都東京など、そういう都市も見るべき所があります。それでも、田舎の間人です。人数がそれほど多くなく、ゆったり生活でき、自然や景色が見える場所が好みます。

「旅行が終わって来て、おすすめは何ですか？」

英語が全くない場所がありますので、心の準備が必要です。簡単な挨拶ぐらいは覚えた方がいいです。Wi-Fi(ワイファイ)レンタルがあれば、連絡とナビ(道案内地図)のために使えますので助かります。ツアー旅行は素晴らしいですが、全部が見えるわけではないので、日本旅行をまた計画してください。地域コミュニティーなどに一緒に参加できる機

会があれば、ぜひ参加してください。

「一番の思い出は何ですか？」

一つというのは難しいですが、特に記憶に残っていることがいくつかあります：

- ・小学生と一緒にした田植え
- ・鹿児島から見た桜島の噴火
- ・都城での散歩やドライブ
- ・お好み焼き一揆での夕食会(写真)
- ・息子の同僚との出会い
- ・富士山
- ・白川郷

「もっとやりたい・やらなくてもいいことがありますか？」

今回の旅行は良いバランスだったと思います。様々な神社やお寺を見に行き、それぞれにそれぞれの特徴がありました。大人数での交流より、一人ひとりや少人数での交流があれば良かったと思います。

「他の旅行者にアドバイスがありますか？」

- ・絶対に空港からの移動のための予約をするべき、特に夜の便の場合。
- ・宿泊・便のことを再確認するべき。(例えば、東京に到着する時、どちらの空港?)
- ・季節次第で衣服にご注意を。
- ・(オーストラリアと比べて)公共交通がすごい(便数やきれいさなど)ですが、公共交通を使っている人数もすごい。
- ・レンタカーを予約する時は、駐車場に気を付けてください。



「最後に言いたいことがありますか？」

また来ます！

モンゴルの8月

～モンゴル国際交流員 ソヨルマーさんによるモンゴル紹介～

モンゴルで8月といえば、一年で最も降水量が多い時期です。といっても、全国的に何日間連続で雨が降り続くようなことはありません。面積は日本の4倍ぐらいですので、南と東に、この季節になっても雨があまり降らない地域があります。

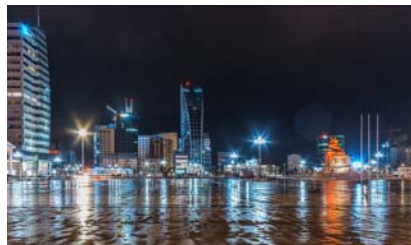
年間の降水量が日本の5分の1ほどしかないステップ気候のモンゴルでは、年間を通じて乾燥しているところが多いです。そのため、8月の平均気温が+25度でもカラッとしているので日陰は涼しく感じます。

このような地理的な特徴もあって、モンゴル人は“雨の匂い”という、とにかく乾燥しているところに降ってくれる雨によって、草や花の匂いが一気に増し、潤っている植物と土の匂いが漂ってきて、一言で言えば、人間も自然も癒される“いい匂い”と考える人が多いのではないかと思います。

住んでいる場所の特長によって、いろいろな“雨の匂い”があると思いますが、日本に住んでいると梅雨になるとカビ対策をはじめ、大雨注意報にも気をつけなければならない時期なので“雨＝注意”と考えるようになりました。

気候的な特徴以外に、モンゴルの8月の風景といえば、夏休み最後の月で、新学期の準備で親も子供も学校も大変忙

しくなります。大学の新生が地方から首都に集まり活気で溢れ、幼稚園生から大学生まで皆が準備に追われる時期です。日本の幼稚園や学校と違って、モンゴルでは教材、制服、教科書などは全て自分で準備しなければいけません。町の中の広場や大通りには“新学期用屋台”が開設されま



編集部より

7月23日から29日、都城市青少年モンゴル訪問事業で市内中高生10名と山内さん、通訳としてモンゴル出身のALTのエンフタイワンさんとモンゴルを訪問しました。現地では、ウランバートル市が企画したプログラムに参加し、ロシアと中国の中学生と一緒に文化体験やゲル宿泊等を体験しました。都城の中学生は積極的に交流し親睦と絆を深め、最後の送別会では涙のお別れでした。都城の中学生は帰国後も連絡を取り合っているようです。今回の訪問は、気候にも恵まれ、たいへん有意義な交流ができたことを嬉しく思います。来年はモンゴルの中学生が都城を訪問する予定です。 [森重]

「えっ!?日本語じゃなくて外来語なの?」シリーズ①

前回の【天ぷら】のように、今ではすっかり馴染みの「日本語」として定着しているけど、実はその語源は、「外来語」だったんだあ〜って言葉を御紹介していきたいと思います。記念すべき第1回目は、2つ御紹介します。まず、一つ目は【簿記(ぼき)】。え〜!!全然知りませんでした…ご存じでしたか?デジタルな時代になっても、「簿記」が出来る人ってリスペクトしますよね。実は、英語の【bookkeeping】に音を合わせたものらしいです。そして、二つ目は、【お転婆(おてんぱ)】。男勝りな女の子を意味する言葉ですが、これは、オランダ語の【ontembaar(オンテンバール)】に由来し、馴らすことが出来ない、負けん気という意味だそうです。いやあ〜、びっくりしました…次回からもこんな感じで御紹介していきます!! [西畑]

先月、都城市モンゴル青少年訪問団に同行させていただきました。ウランバートル市、ロシアのイルクーツク市、中国のフフホト市の青少年との交流を通して、10人の本市中高生がぐんぐん成長する姿を目の当たりにしました。令和元年の夏、心の根っこで一生自分を支えてくれる経験が出来たに違いありません!若者たちのキラキラに触れて私もパワーを頂きました。家に残した我が子達も、自分で作ったお弁当の写真を誇らしげに見せてくれたり、身に着けた洗濯物を早くたたむ技を披露してくれたりと、とても成長してくれてました♪ [山内]

ウランバートル市に住んでいる時に、よくしていたことの一つは、ポットの洗浄です。ウランバートルの水は硬水のため、ポットの中を念入りにきれいにしなければいけません。ウランバートル市民は、飲水の蛇口に付けるフィルターをはじめ、様々な浄水器を使う人が多いです。

都城に来て、水がとても綺麗で軟水だなあということをよく実感します。こちらに住んで5年目に入っているところですが、最初買ったポットの中を2、3回しか洗浄していません。それも、気になったからではなく、モンゴルの生活習慣でやりました。いつ見ても中がピカピカきれいです。 [ソコ]

実家は団地のアパートの1階にあります。夕食前は、いつも住宅敷地内の路地に、各家から色々な香ばしい家庭料理の匂いが漂っていました。放課後、家に向かう最後の100メートルは、よく「あっ、今日この辺のどこかのお宅は山椒を使った辛い料理があるね」、「おお〜向こうは栄養たっぷりの鶏がらスープかな」と、匂いを嗅いで料理を当てて楽しんでいました。ある日の帰り道、すごくおいしそうな酢豚の匂いがしました。「酢豚食べたいな」と思いながら家のドアを開けると、なんとその酢豚を作っていたのは母でした。その時の胸いっぱい溢れていく幸福感を今でも覚えています。次回の中国料理教室で酢豚を教えようかな。 [銭]

やっと2年目に入りました!学校訪問、ラジオ・テレビ出演、防災活動、友好交流都市活動、様々な研修、盆地まつり踊り連、トリアナイトのMC、TALK&TALK、ワールドフェスタのMCとピアノ出演…全部まとめたら、十分忙しかった一年みたいですね!

個人的にも、今年は初体験だらけでした。志布志から船に乗って釣りに行ったり、上米公園に花見に行ったり、高千穂峰に登ったり、友達と一緒に大阪のなんばと日本橋を見に行ったりしました。全部が大切な思い出ですが、それより印象に残ったことはやはり日常生活の中でオーストラリアと日本の違いを感じたところです。詳しく知りたいならば、声を掛けてくださいただ、話が長くなるかもしれませんので、ご注意ください!(^_^) [ジョージ]

盆地まつり踊り連に参加して頂きました皆様、浴衣の着付けにご協力いただいた皆様に感謝いたします。 [藤元]

子ども番組にマトリョーシカが出ていたので、娘に実物を見せてみました。想像以上に気に入ってしまって、大きいサイズの中に小さいのを無理やり2個入れようとしたり、うっかり落としたり、クレヨンをついた手で触ったり、飽きるとその辺に置いたままにして、いつ壊されるか気が気ではありませんでした。見せたことを後悔しながら、こっそり元の飾り棚に片付けました。 [迫田]